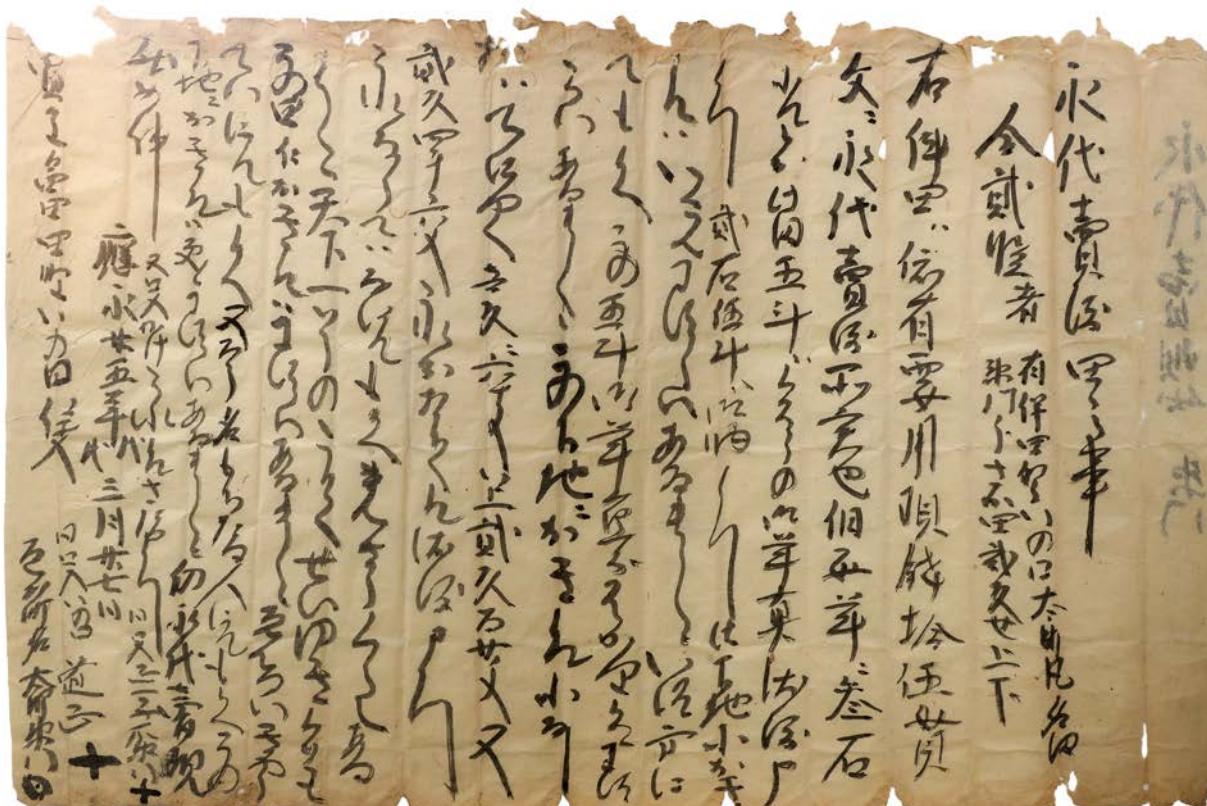


文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「太郎衛門田地壳券」佐久高士收集文書（当館蔵）

A0137-00001

第33号 目次

特集 「デジタルアーカイブ福井」がリニューアル	2
歴史的公文書紹介	5
寄贈・寄託資料紹介	6
お知らせ	8

第33号
2025.12

福井県文書館

「デジタルアーカイブ福井」がリニューアル

あれこれ まとめて検索

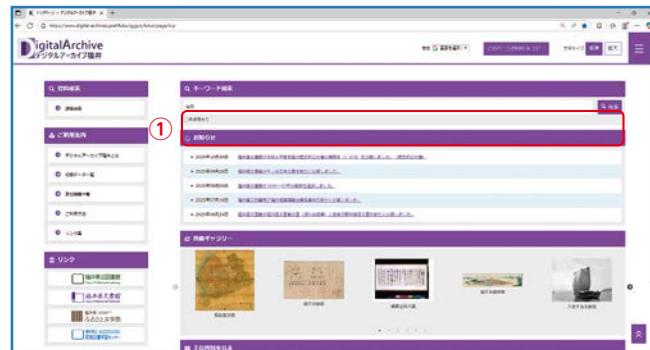
●資料を横断的に検索 ①

デジタルアーカイブ福井（以下DA福井）のトップページのキーワード検索では、古文書・古典籍等、歴史的公文書など当館収蔵のすべての目録種別を横断的に検索できます。

あわせて、2025年10月末現在では以下の参加機関の資料もDA福井でまとめて検索が可能です。今後も県内の参加機関を増やしていく予定です。

< DA福井 参加の県内14機関 >

県文書館・県立図書館・県ふるさと文学館
若狭図書学習センター・若狭歴史博物館
こども歴史文化館・大野高等学校
教育総合研究所教育博物館
福井市立図書館・福井市立郷土歴史博物館
あわら市郷土歴史資料館・小浜市
坂井市龍翔博物館・高浜町郷土資料館



▲デジタルアーカイブ福井 トップページ



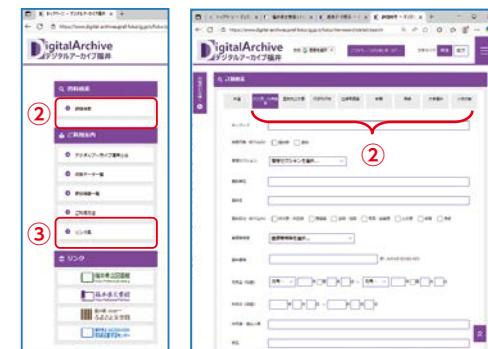
▲福井県文書館 トップページ

●詳細検索 ②

詳細検索では8つの目録種別（古文書・古典籍等、歴史的公文書、行政刊行物、広報写真等、新聞、県報、文学資料、人物文献）ごとに資料を個別に詳しく検索することができます。画像の有無や作成・施行された年月日で検索条件をしづらることで、資料を見つけやすくなります。

●添付ファイルも同時に検索

資料に添付されている文書ファイル（PDF・Word・Excel・Text）も全文検索対象になっています。



▲詳細検索ページ

●国立公文書館横断検索にも参加 ③

国立公文書館が提供する横断検索システムです。当館の他に東京・千葉・大阪などの都府県文書館や、東京大学、国立国会図書館、外務省外交史料館、国立情報学研究所など全31機関が参加しています。リンク集にはその他デジタルアーカイブ関連サイトへの一覧を載せています。



▲リンク集

収録データ・閲覧可能画像が増加！

- 古文書・古典籍、新聞、歴史的公文書を中心に約**91.6**万件の収録データがあります。
- 文書館閲覧室の端末からは資料約**17.5**万件、約**235**万点の画像を見ることができます。
- インターネット上でも資料約**5.6**万件、約**71**万点の画像を見ることができます。

(値は2025年10月末現在)

検索結果から画像へ

- 検索結果一覧に小さな画像が表示されている資料は、資料画像を見ることができます。**④**
- 資料名をクリックすると詳細情報へ、画像をクリックすると画像閲覧画面へ移動します。**⑤**

DigitalArchive デジタルアーカイブ福井

言語: 言語を選択 このページのURLをコピー 文字サイズ: 標準 拡大

検索結果 (古文書・古典籍等一覧)

6件中 1 - 6件表示 資料番号 頁数 25件 表示更新

No.	画像等	詳細情報
1		古文書・古典籍等 越前國之図 古文書・古典籍等 > A 福井市域 > 松平文庫 [資料区分] 航図・地図 [資料番号] A0143-21182 [画像コマ数] 1 [年月日] 1685年(貞享2)
2		古文書・古典籍等 越前國之図 古文書・古典籍等 > A 福井市域 > 松平文庫 [資料区分] 航図・地図 [資料番号] A0143-21183 [画像コマ数] 2 [年月日] 1697年(元禄10)
3		古文書・古典籍等 【越前國之図】 古文書・古典籍等 > A 福井市域 > 松平文庫 [資料区分] 航図・地図 [資料番号] A0143-21184

- 詳細画面では年月日や画像コマ数に加えて、備考情報や二次利用条件がわかります。
- 「閲覧」ボタンをクリックすると画像が見られます。**⑥**

DigitalArchive デジタルアーカイブ福井

このページのURLをコピー 文字サイズ: 標準 拡大

詳細

管理セクション

福井文書館

階層

古文書・古典籍等 > A 福井市域 > 松平文庫

資料名

越前國之図

原本所在

福井文書館・蔵本

資料区分

航図・地図

資料番号

A0143-21182

年月日

1685年(貞享2)

資料形態・書体種別

398×406cm・写本

面画コマ数

1

画像等有無

画像あり

備考

成澤文庫(1685)に作成された挂図。豊平連作の内他巻は22円石と判明するが(成澤の所持)、その準備として越前国だけに絵図の作成が作られた。寺社・城郭・山・川などの書類が墨書きで色あせかに塗かれたり、主張一束に作成された墨絵風とは違った風がある。・【分類】 『松平文庫蔵古文書叢書第10冊目』(福井・地図・越前國之図)、題序: [1182-0471/v2]

説明等への直

「福井市史 豊岡城跡 越前・地図」(福井市 1969年) p.21~22 説明

二次利用条件

福井文書館への申請が必要です。下記リンク先より申請してください。

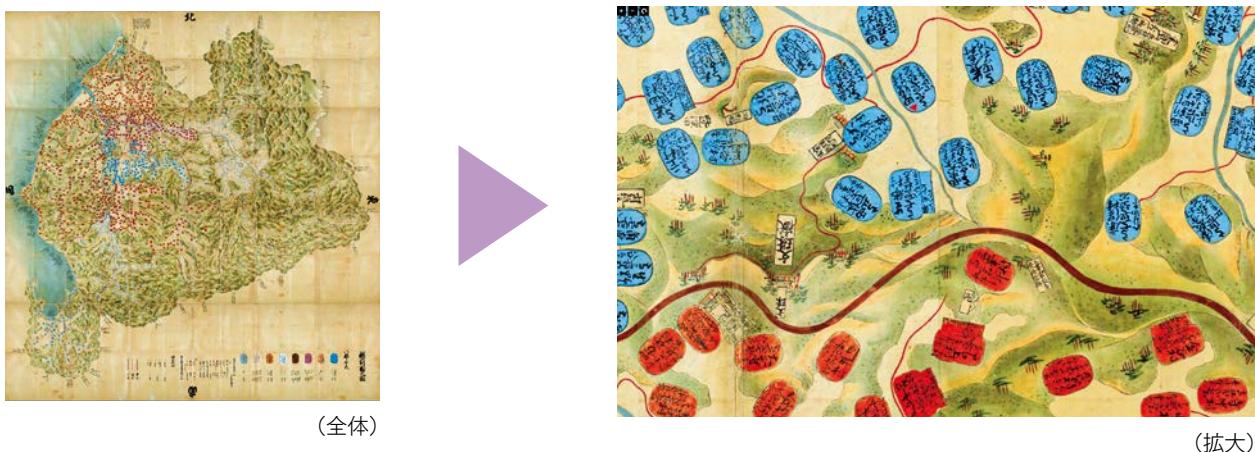
閲覧の注意

文化基盤上での閲覧から、原本は閲覧できません。代わりに複数枚写真をご利用ください。

面画データ

閲覧

- 画像閲覧では以前よりさらに拡大して見られるようになりました。
- 自宅PCやスマートフォンで閲覧できる画像は印刷・ダウンロードも可能です。
- 文書館内限定公開画像は、館内閲覧室PCでのみ閲覧・印刷可能です。



使いやすい画像・資料

- 「画像ギャラリー」では各館の特色ある資料をピックアップしています。⑦
- 「主な資料を見る」では城下絵図などよく知られている資料を検索せずに閲覧できます。⑧

■表紙写真■ 「太郎衛門田地売券」

佐久高士収集文書（当館蔵）A0137-00001



応永25年（1418）の大野郡域の田地売券です。田地を売買する際に売主から買主へと差し出された証拠書類で、本資料には売主として現在の大野市田野・同井ノロの住人であった太郎衛門という人物の名が記されています。

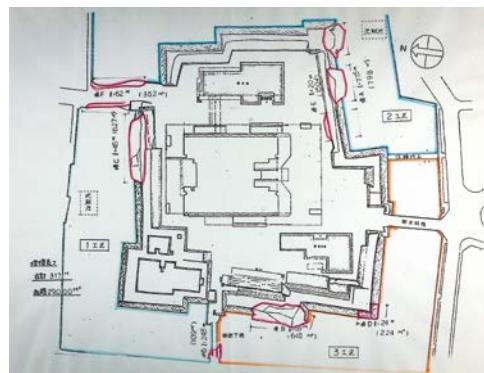
この売券は、当館が所蔵する最古の資料です（令和7年12月現在）。

◆◆◆歴史的公文書紹介◆◆◆

福井城の石垣を守るために

徳川幕府の親藩であり、全国屈指の大大名である福井藩68万石の初代藩主・結城秀康の居城として築かれた福井城。江戸時代には四重五重の堀を有した壮大な城は、明治時代以降は街の発展に伴って外堀が徐々に埋め立てられ、現在は内堀しか残されていません。しかし、越前の特産品である笏谷石が使われた美しい石垣は、春には桜の名所としても県民や観光客から親しまれています。

城の歴史を眺めると、天守は寛文9年（1669）の大火で焼失後再建されませんでしたが、その際に損傷した石垣は修復されています。近・現代に至ると、福井空襲の直撃はまぬがれたものの、昭和23年（1948）6月28日の福井地震では石垣全周863mのうち約300mが崩壊するなど大きな被害を受けました。その後は、所有者が民間企業であったことや、市民に「震災の記録として残すべき」との声があったことから長らく手が付けられなかった一方で、市中心部の景観が損なわれているということから県議会でも何度も修復が求められていました。昭和50年代になって所有者の同意を得られた県は、昭和56年（1981）の置県百年を契機とした県庁舎建替事業の一環として昭和57～58年（1982～83）にかけて修復工事を行い、35年ぶりに美しい石垣が復旧されました（石垣と堀部分の底地は平成元年に寄附され、現在は県の所有となっています）。



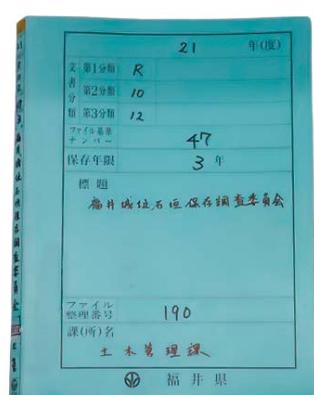
▲石垣修復計画「昭和57年度（当初）予算要求説明資料」R001-001637



▲「[県広報] 県庁舎」R021-082294
昭和53年（1978）7月（丸印は崩壊が激しい箇所）

しかし、それから後には直接的な大きな災害こそなかったものの、堅牢な構築物であっても長い歳月の間には劣化は避けられません。日照や風雨の影響による欠損や、昭和初期に上部に植樹された樹木が風に揺れて振動を与えたり、根が内側から石垣を圧迫したりもし、こうしたことで「はらみ」（石積みが膨らむこと）が拡大すると崩落の危険性が高まってきます。このため、県では平成4年（1992）から定期的な測定調査を開始し、また平成21年（2009）からは専門家による「福井城址石垣保存調査委員会」を設置して、測定結果の検討や樹木剪定の技術指導などを依頼しています。

長い歴史の中で損傷や修復を繰り返してきた福井城の石垣は、これからも調査や補修を重ねる中で、県民の貴重な財産としていつまでも引き継がれていくことでしょう。



▲「福井城址石垣保存調査委員会」R001-049113

◆◆◆ 寄贈・寄託資料紹介 ◆◆◆

● A0137 佐久高士収集文書（寄贈）

元福井大学教授の佐久高士氏によって収集された中近世文書約450点からなる資料群です。昭和55年（1980）に氏の著作・蔵書と共に福井県立図書館へ寄贈され、令和7年（2025）に収集文書のみ当館へ移管されました。佐久氏は日本近世の村落史や人口動態に関する研究を専門としていたことから、収集文書の多くは宗門人別帳などの近世村落に関わる資料で占められています。これらは佐久氏による編著書『越前国宗門人別御改帳』（全六巻、1967～72年）で翻刻されて広く知られていましたが、今回新たに原資料の所在を確認することができました。

その他、収集文書の中には中世文書も含まれています。移管により当館が所蔵する最古の古文書となった応永25年（1418）の太郎衛門田地売券（本号表紙掲載、4ページ参照）をはじめとして、中世後期の勝原（大野市）周辺の売券などが複数点確認できました。この地域の中世文書はほとんど残っておらず、山間部の人々の活動がうかがえる貴重な資料です。この中でも特に注目されるのは、文安2年（1445）の「しん左衛門あらし売券」をはじめとして、「あらし」の売買が見られたことです。「あらし」とは、白山麓周辺や大野郡・南条郡・今立郡などの山間部で用いられた焼畑をおこなうための用地を指す呼称です。従来、この地域の資料に「あらし」という言葉が登場するのは中世末のものが最古でした。しかし、今回確認できた資料によって「あらし」を用いた焼畑がこの地域で長期間にわたって続いていることが判明しました。

また、大谷浦（南越前町）などの漁村に関わる中世文書も見つかりました。写真的資料は天正12年（1584）の大谷浦検地打渡状です。

戦前に発刊された『福井県南条郡誌』（1934年）には同資料の写真・翻刻の一部が掲載されていますが、その後所在不明となっていました。今回約90年ぶりに所在が明らかとなりました。

その他にも近世から近代にかけての様々な資料が含まれており、福井県の歴史を紐解く資料群として、今後の活用が期待されます。



▲「大谷浦検地打渡状」

A0137-00017

前号紹介後に新たに公開した古文書一覧

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ● A0137 佐久高士収集文書 | ● A0214 田中佐五右衛門家文書 |
| ● A0301 福井県文書館文書（河川台帳等） | ● C0042 牛ノ谷区有文書 |
| ● H0060 旧南袖山村役場文書 | ● H0061 旧南日野村役場文書（追加） |
| ● I0157 筒井善右衛門家文書 | ● X0157 前田葉庵関係文書 |

● X0157 前田葉庵関係文書（寄贈）

前田葉庵（1677～1752）は正徳5年（1715）、松岡藩主松平昌勝に召し出された儒医です。同藩の福井藩併合後は、自身および代々の子孫が藩儒を務め、2代鶴犀、3代赤淵、4代雲洞、5代梅洞と続いて、6代菊溪の時に明治維新を迎えるました。

葉庵関係29点と梅洞関係1点の計30点からなる本資料群は、淀藩（後に亀山藩）の儒者を務めた葉庵の兄菊叢の家に伝来したものが大部分を占め、同家を調査した八木淳夫氏による収集資料も一部含まれています。

このうち「傷寒論後条弁直解」は、清の程応旄による古医書「傷寒論」の注釈書に、葉庵が付点し、跋文を付して宝永元年（1709）に和刻されたものです。また「硯右録」には、原本が失われた松岡藩の逸話集「影響録」が抄写されている点が注目されます。



▲「傷寒論後条弁直解」

X0157-00020

● A0067 石倉家文書（移管）

石倉家は日野川左岸に位置する南条郡鰐波村（現在の南越前町鰐波）の庄屋で、同村が北陸道の宿駅であったことから本陣を務め、問屋などを兼ねることもありました。近代以後も、大区や小区の行政事務を執り、引き続き同地域の中心的な役割を果たしていました。

資料は地方文書、および私家文書の全2,849点で、上限は天正11年（1583）、下限は昭和9年（1934）です。地方文書には村政関係に加えて宿駅関係、また日野川の渡や普請関係、用水や山剥の出入関係など、周辺の村々に関連する資料も含まれています。



▲「（青木六兵衛・今井孫左衛門連署作職安堵状写）」A0067-00771

資料所在確認調査を行っています

文書館では、福井県史を編さんする際に調査を行った資料所蔵者の方を対象に、資料所在確認調査を行っています。今年度はあわら市・坂井市・勝山市・大野市で実施しており、来年度以降も同様の調査を県内の各市町で実施していく予定です。アンケートによる調査のほか、資料所蔵者の方からの要望で資料の保管場所を訪問し、資料の状態を確認するための調査も行っています。

また、この調査を契機として、各市町や当館などで緊急性の高い資料の調査や受け入れを進めています。資料の保存方法の相談などは、お気軽に文書館までお問い合わせください。

■ 「デジタルアーカイブ福井」の「みんなで翻刻」との連携が拡大中

「デジタルアーカイブ福井」で公開されている資料のうち、143点（令和7年12月時点）が市民参加型の翻刻プロジェクト「みんなで翻刻」と連携しています。

この連携により、デジタルアーカイブ福井の資料は随時、みんなで翻刻ユーザーによって解読され、活字に翻刻されています。

みんなで翻刻のユーザー登録や参加は無料です。

AIによるくずし字認識機能などの翻刻支援機能も搭載されており、他ユーザーと運営者との間で質問や情報提供、要望、不具合報告などが共有できるフォーラムも開設されています。まずはお気軽に、体験してみてください。



◀ 「デジタルアーカイブ福井」へのリンク



▲ 「みんなで翻刻」での翻刻イメージ



▶ 「みんなで翻刻」へのリンク

叢書発刊予定のお知らせ

今年度の『福井藩士履歴14』(福井県文書館資料叢書22)は、令和8年3月末ごろ発刊予定です。今回は「元陪臣」(藩士の家臣で卒身分)を対象として準備を進めています。既刊の資料叢書と同様に、希望者には文書館閲覧室、あるいは送料実費負担にて配布します。

ご利用案内

■ 開館時間

午前9時から午後5時まで

■ 休館日

月曜日（国民の祝日は除く）

国民の祝日の翌日（土、日、国民の祝日は除く）

文書等点検期間（年間10日以内）

年末年始（12月29日～1月3日）

清掃整理日（3月・7月・12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日）

■ フレンドリーバス（無料）をご利用ください。



※フレンドリーバスのバス停は図書館の敷地内

編集後記

文書館だより第33号をお届けします。今号ではリニューアルした「デジタルアーカイブ福井」について特集しました。今後とも文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取組みを行っていきます。

文書館だより Fukui Prefectural Archives 第33号

2025年（令和7）12月12日発行

編集・発行／福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/index.html>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp



25.12.55030